

【会議録】

主 題 令和6年度 第1回つくばみらい市障がい者支援協議会

●日 時：令和6年7月29日（月）午後2時～

●場 所：つくばみらい市役所伊奈庁舎3階 大会議室

●出席委員：原口朋子委員、大久保安雄委員、君嶋俊樹委員、菊池芳江委員、山迫美晴委員、賀内洋介委員、吉田日出子委員、小谷野卓巳委員、石田奈津子委員、荒井栄司委員、安河内崇代委員、鈴木恭子委員、木村範明委員 以上13名

●欠席委員：宮本瞳委員 以上1名

●事務局：社会福祉課 高瀬課長、倉持補佐、加瀬主査（進行）、古谷主事、兼重主事

●傍聴人：1名

全体会開会（午後2時00分）

1. 開会

○事務局紹介及び委員紹介

2. 会長及び副会長の選出

会長に原口朋子委員、副会長に君嶋俊樹委員が選出された。

3. 議事（会長が議長となり、議事を事務局から説明した。）

（1）第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の事業実績（令和5年度分）について

（2）障がい施設等物価高騰対策支援金について

（3）障害者差別解消法改正について

（質疑・応答）

委員1：福祉施設から一般就労系の移行だが、就労継続支援A型から一般就労への移行者数、就労継続支援B型から一般就労への移行者数ともに令和5年度の実績は無かったが、思い当たるところはあるか？

事務局：近隣に就労継続支援A型事業所が多くできたことで、無理して一般就労を行わなくてもいいのでは、と考える方が増えたからではないかと思う。令和5年度1年間で、精神保健福祉手帳保持者が約100名増加しているが、このことも関係しているのではないかと思う。

委員2：来年度から就労選択支援が始まる。まず一般就労が可能かどうかアセスメントを

してからの利用となる。就労の可能性のある方については、今後、就労選択支援を利用することで明確になる。今後は、就労選択支援のサービスを提供する事業所が重要になると思われる。

議長：移動手段の問題もあるのではなかろうか。ご自分で通勤が難しい方もいらっしゃる。A型は送迎をやっていないかもしれないが、B型で送迎してもらえるならという側面もあると思われる。

委員3：通勤の問題は大きいと思う。一般就労の方で体力や社会性のある方というのは、学生時代から、なるべく公共交通機関を頑張って利用している。そうではなく、公共交通機関を利用する場合、通勤時間帯のラッシュが大変だし、バスの本数も少なくなり、自閉傾向のある方は、不安になってしまうことがある。コロナ渦の中、コロナになってしまったら困るので、親が送迎していたこともあった。保護者のバックアップが必要となる。東京のように公共交通機関が発展しているわけではないので、全国的にも問題だと思う。自分自身どこに訴えていけばよいか分からない。過去に通勤でエネルギーを使ってしまった経験もあり、本人もそのことを怖がっているのが現状である。

議長：確かにバスの本数が減ったという話は聞いている。運転手の人手不足もある。

委員4：児童のことを聞きたい。伊奈特別支援学校の入学者が急増したと聞いた。生徒数も増えていると思うし、放課後デイサービスや児童発達支援の利用希望者も増えていると思われる。実際に就労したいので利用したいという保護者もいるが、実際に希望が叶っているのか、夏休みなどの長期休暇に希望が叶うかどうか、なかなか難しいという話を聞いている。事業所が足りているかどうか問題もあるだろうが、このあたりについて聞きたい。

委員5：事業所側として、ニーズが増えていると感じているが、人手不足の問題がある。市内の小学校に通っている子を送迎する時、終了する時間が同じ時間帯になってしまう。送迎する車の台数の問題もある。もとは療育的要素から訓練を受けたいから通所したいという要望があったが、近年は、とにかく預かってほしいというニーズが多くなっている。朝早くから夜遅くまでとなると、近年の働き方改革と逆行してしまう。スタッフが出勤できない時間となると、親のニーズと会社の思いが合わないというせめぎあいになってしまっているところは現実あると思う。見学には来てもらえるが、「その時間だと行けません」と断られる。長時間預かることで子どもが疲れてしまうので、長く預かればいいというわけではないと思う。対応する際、苦しい部分があったりする。放課後デイサービス事業所が増えてきている分、重度のお子さんを受け入れる事業所が少なくなっている。重度の子を預かると、現場が回らなくなるという問題も生じている。ビジネスになっている側面もあり、軽度のお子さんを受け入れている現実だと感じている。そうではないという思いで頑張ろうとしているが、働き手がいなくて悩んでいる。

委員 6 : A型の話に戻ってしまうが、最低賃金が上がるというニュースが流れてから、事業所の存続の噂が耳に入るようになった。事業所が減ることで生活していけない方が出てきてしまう可能性もある。今後の支援について悩んでいる。

委員 7 : A型のあり方の問題はあと思う。高い収入を得らえる事業をやっていないとこれからやっていけなくなる。B型も同様である。A型でもB型でも、収益を上げていくスタイルを作っていないと運営は厳しくなる。

議長 : あとは一般就労に向けて就労選択支援も新たに開始となるが。

委員 7 : A型の支給決定をする際、就労選択支援の支給決定も同時に行うことになるので、件数は増加する。直接B型通所の問題もあったが、特別支援学校に通っている場合、実習のタイミングで就労選択支援の選択が可能となる。B型の新規利用者は、必ず就労選択支援を受けることとなる。A型も同様となっていく。更新時も就労選択支援の支給となるため、支給量は確実に増える。B型利用者については、更新時の同じサイクルで回ってくるのが予想される。

事務局 : 就労選択支援事業を実施する事業所は、B型を実施している事業所が多くなる傾向があるのか知りたい。

委員 7 : 令和7年10月からB型事業所利用希望者から開始となるが、その後、A型、就労移行で始まる。条件があるが、その条件をクリアしないと事業の実施ができない。A型、B型の事業所には今のうちからの準備が必要だと訴えていくことが重要である。

議長 : 新しいサービスが増えることで、新しい選択が広がるといいと思う。

委員 8 : B型と一般就労はやはり差があると感じる。B型から一般就労はかなり難しいことだと思う。一般就労につながらない方は、作業能力が至らなくて一般就労までいかない人、または能力的には問題ないが、継続的にできない方、気持ちのところが難しいのかと思う。前者のほうが、トレーニングで何とかできるのではないかなと思う。なかなか難しいところである。

委員 9 : 児童発達支援センターの設置や保育所等訪問支援事業の見通しなどを教えてほしい。早期療育が必要だが、保育所と連携が取りにくかったり、理解が得られなかったり、障がい児を受け入れてない保育所も僅かながらある。そのような保育所に入所すると、子どもも母親も苦しい思いをしている。そのような経験もあるので、市の療育教室をうまく活用しながら連携していければいいと思う。児童発達支援センターなど行政が実施するような所が始まれば、受け手側は違うと思う。民間と行政の違いを肌で感じている。

事務局 : 市の発達支援事業は、おやこまるまるサポートが主管課で市の独自事業として行っている。グレーゾーンの子まで幅広く対象としている。今後については、おやこまるまるサポートセンターと社会福祉課で話し合いを行っているが、方向性が定まっていない状況である。これまで通りの発達支援事業でよいのか、相談の体制を含めてもっと充実させたほうがいいのか、予算はどの程度必要なのか、を含

めると、直近の1～2年後での実現は難しい。どの程度の先の目標として検討していけばよいか、を話し合っているところである。

委員10：保育所や児童クラブを民営が事業を実施しているところが増えているが、障がい者雇用で募集が出ているのを目にする。主な業務は見守りで募集が出ている。民営と市でどのようにやり取りがされるのか懸念点ということで情報共有したい。

委員11：本年度、特別支援学校小学部1年生が40名入学してきた。中、高等部を合わせると、全校生徒が378名となった。昨年度から約40名増加で、再来年あたりに新棟を建てる計画もある。狭くなったグラウンドをさらに削って新棟をいうところまで話が出ている。現在、高等部は1学年37名だが、高等部を上回る生徒が入学してきている。40名から中学部、高等部に上がるにつれ、生徒は増加していくので、高等部を卒業する頃には、1学年60名程度になることが考えられる。特別支援学校ありきの学びの場の選択というよりは、特別支援学校も選択肢の一つだが、小、中、高校も選択肢で分かれてくると思う。軽度の子の入学も目立ってきているが、早期から特別支援学校に入学することが、その子の特性を踏まえたときに、特別支援学校よりは、小、中、高校の選択肢というのも学校、教育委員会で検討した結果なのかどうかという話も出ている。特別支援学校の役割ははっきりしてきている中で、若干誤解されている部分もある。不登校の子も入学してくる。障がいのある方を受け入れている学校もあると思うが、適切な学びの場の検討は学校の中で大切だと思う。進路の件だと、過去2年間の卒業生でA型に進路決定したのは1名だけだった。この近隣は、就労しやすい環境が整っているので、A型に行ける能力があれば、障がい者枠で就職を目指すようになっている。保護者として、就労移行から一般就労を目指す意識は大分薄れていっている印象を持っている。

4. 閉会

【配布資料】

- ① 会議次第
- ② つくばみらい市障がい者支援協議会委員名簿
- ③ つくばみらい市障がい者支援協議会要綱
- ④ 資料1 第6期障がい福祉計画 第3期障がい児福祉計画の事業実績（令和5年度分）について
- ⑤ 資料2 つくばみらい市障がい施設等物価高騰対策支援金について
- ⑥ 障害者差別解消法チラシ